

歴史の実像を求めて 地域と歴史資料

日時

2022年10月29日(土)

13時～16時 (開場12時00分)

プログラム

13:00 開会
13:03 趣旨説明
13:10 講演1
14:10 休憩
14:20 講演2
15:20 休憩
15:30 史料ネットについて
15:40 完結編まとめ
16:00 閉会

会場

岡山県立美術館

2階ホール

(定員100人)

入場無料

(入場整理券が必要)

応募締切

10月14日(金)

主催(公財)岡山県郷土文化財団

共催 岡山県 後援 山陽新聞社

趣旨説明 倉地克直 [岡山大学名誉教授]

講演1 「聞く歴史と文字史料の往還

—東日本大震災後の歴史実践を中心として—」

大門正克 [早稲田大学教育・総合科学学術院特任教授]

講演2 「吉備の古代社会を考える

—正倉院文書とシミュレーション—」

今津勝紀 [岡山大学文明動態学研究所教授]

史料ネットについて 今津勝紀

完結編まとめ

倉地克直

講演 1 「聞く歴史と文字史料の往還

ー東日本大震災後の歴史実践を中心としてー」

大門正克 [早稲田大学教育・総合科学学術院特任教授]



東日本大震災後、市街地が津波で壊滅的に破壊され、圧倒的に多くの史資料が散逸した岩手県陸前高田市で聞き取りを続けていたところ、奇跡的に津波の被害を免れた史資料に出会うことができた。被災地の聞き取りと史資料の出会いを歴史実践として位置づけ、さらに近世から近現代の文字史料にも人が語ったものが多いことにふれ、聞き取りと史資料という、歴史をたずねる二つの方法をふまえた新しい歴史研究について考えたい。

講演 2 「吉備の古代社会を考える

ー正倉院文書とシミュレーションー」

今津勝紀 [岡山大学文明動態学研究所教授]



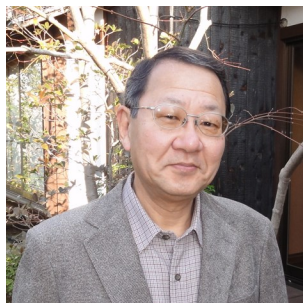
今から、千年以上前に吉備で暮らした人々の生活を考えてみよう。正倉院文書に伝わる天平11年(739)の備中国大税負死亡人帳は、稲の貸付を受けたが亡くなったため返済が免除された人の帳簿だ。当時の戸籍なども参考に、コンピューターで古代の人々の生と死をシミュレーションしてみたら何が見えてくるだろう。王権を核に構造化された社会において、頻発する飢饉や疫病、災害は人々の生活に時に壊滅的な被害をもたらした。過酷な古代社会の現実を見つめ直したい。

史料ネットについて

今津勝紀 [岡山大学文明動態学研究所教授]

趣旨説明とまとめ

倉地克直 [岡山大学名誉教授]



地域の歴史資料には意図的に残されたもの、偶然残ったもの、伝承などさまざまなものがある。近年は思いもよらない災害が多く、地域の在り方や再生を考える時、歴史資料は大きな意味を持つ。災害、人びとの暮らしの在り方(生存)、新しい歴史研究の方法など、新たな視点と研究から身近な歴史とこれからの社会の在り方を考える。

新型コロナウイルス感染症の対策について 詳しくは、入場整理券に記載します。

☆岡山県の基準に沿った対策を実施します。

☆新型コロナウイルスの感染状況、又は、やむを得ない事情により開催内容が変更又は中止となる場合があります。

☆受付時に新型コロナウイルス感染防止対応を実施させていただきます。マスクは必ず装着してご来場ください。

☆当日、37.5度以上の熱、風邪症状のある方は入場をお断りします。(同居家族を含む)

お問い合わせ・お申し込み先

「文化フォーラム申込み」の旨と、複数でお申込みの場合は代表者の①住所②氏名③複数の場合は参加希望の方のお名前を電話・ファクス・メールでお知らせください。代表者の方に人数分の入場整理券を発送します。

申込み多数の場合は抽選になります。

定員に達しない場合は締切後も受け付けます(締切後は先着順)。

申込み締切 2022年10月14日(金)

〒700-0822 岡山市北区表町 1-7-15-702 岡山県郷土文化財団

電話 (086) 233-2505 FAX (086) 232-4329 Eメール o-bunka@utopia.ocn.ne.jp